

港区立御成門小学校
令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	・問題を把握する力が弱い。一度に2つ以上の内容を質問されると、最初の質問以外は落としてしまう傾向がある。 ・自分の思いや考えが明確に伝わるように、文章を書くことが難しい。 ・自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして書くことや、段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書くことに苦手さを感じている児童が多い。 ・経験したことから文章を書いたり、自分の思いや考えが明確になるように文章を書いたりする。 ・言語理解(修飾語、指示語)。辞書の活用。
社会	・資料に着目して、事実を捉え、判断することが苦手。事実とそこからどのようなことが考えられるのか、考察することができない。 ・年表の分析と事象の関係理解。 ・工業と生産貿易では、日本の輸入品の変化についての背景や工業が盛んな地域の特色や背景を正しくとらえることが十分にできていない。 ・日本の食料輸入の問題点について捉えて判断すること、日本の輸入量の変化や工業がさかんな地域について、その特色や背景を捉えて判断し表現することに課題がある。
算数	・億と兆、概数の表し方に対する理解。 ・身近にあるものの面積を推察すること ・グラフを読み取って、表に表したり人数の違いを読み取ったりすること。 ・小数の計算(かけ算、わり算)に課題がある。 ・比例や単位量あたりの大きさ(速さと道のりから時間を求める)の理解が不十分。 ・百分率を理解し、式の意味を正しく捉えることが十分にできていない。 ・図形の定義や与えられた条件で作図をすること。
理科	・生命・地球領域の内容の定着度が低い。実験・観察の手順や器具の使い方が定着していない。 ・物の溶け方では、水の温度を下げた時のミョウバンの溶解度が大きく下がり、溶け残りが生じることを推測する力が不十分である。 ・乾電池のつなぎ方について理解し、豆電球が明るくつくように、回路をつくる(作図)すること ・水の状態変化(凍ったときの体積変化) ・雨水の行方と地面の様子正しい実験手順について ・冷たい飲み物の入ったコップのまわりに水滴がついた理由

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・話す力・聞く力 ・書く力 ・言語についての知識・技能	・ペア等で話型を意識して話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする活動の場を工夫する。 ・伝えたい内容について、理由や根拠等を挙げて書く指導の充実を図る。また、日記や作文など、さまざまな内容で書く活動を設定する。 ・語句の意味を意識できるよう、語句や熟語を使った短文づくりを行う。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	社会科の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する力	・どの学年も情報や年表の読み取りに課題が見られるので、日頃の授業から、様々な資料を提示し、それを関連づけて読み取るような場を作るようにする。 ・知識面で曖昧な部分がある。(工業、日本の食料生産、くらしの移り変わり)ので、その単元について、知識の定着が図れるようにする。 ・社会的事象について、複数の資料を関連付けながら把握するだけでなく、そこから自分で考察するという習慣を身に付けるように学習の流れを作る。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	・思考、表現、判断力 ・量感を養う ・基礎的な知識・技術の定着と活用する力	・算数タイムをはじめ、個別指導の時間に基礎的計算技術を身に付けさせる。 ・生活に密着していること(時間、長さ等)が経験、体験として乏しいので普段の生活の中に活かす。 ・コロナ禍で自分の考えを伝え合う活動時間が乏しくなっている。自分の考えを分かりやすく説明する方法(文、式、図、グラフ、表)を提示する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	・理科の見方・考え方を働かせた問題解決の力 ・生きてはたらく知識・技能	・理科の見方、考え方を想定した授業計画及び、問題解決の必要感を感じられる単元計画を立てる。 ・実験や観察に必要な器具に日頃から慣れるような働きかけ。⇒指導者が見通しをもって計画を立てられるよう使用器具を一覧にしたものを共有する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	身近な人々や社会、自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考えたり、表現したりする力	・見学前に「人・もの・こと」と見学の視点を指導する。 ・導入や活動の場を工夫し、児童の思考に沿った学習計画をたて、諸感覚を働かせて楽しく活動できるようにする。 ・気付いたことを友達と話したり、絵や文で表現したりする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	・表したい音楽表現をするための技能 ・楽曲の特徴を見つけ、その良さを感じ取り、音楽のよさを味わって聴く力 ・協働して音楽をつくったり聴いたりする力	・楽曲との出会わせ方の工夫する。 ・気付きを引き出す。(発問→発言→価値づけ) ・楽曲の特徴に気付かせる。 ・技能練習の工夫(繰り返し練習する部分の精選)。 ・意見交流の場の設定を工夫する。

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・自分の思いを持って主体的に表現する力 ・自分や友人の良さに気づき、受け入れる豊かな心	・自分の思いを持つために、題材の手渡し方法をその都度工夫する。 ・題材に合わせた方法で鑑賞を行う。 ・意見交流の場の設定を工夫する。

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・日常生活に必要な基礎的な理解、それらに係る技能 ・課題に対する取組を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力	・既習の知識や技能を生かし、繰り返し学習することで基礎・基本の定着を図り家庭実践へ発展させる。 ・観察や実習の結果を整理する際のレポート作成など充実させることを通して表現活動の充実を図る。

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・運動に主体的に取り組む態度 ・課題解決をする力 ・安定して技に取り組む技能	・主運動に取り組むための運動を帯で取り組み、主体的に主運動に取り組めるようにする。 ・互いに技のポイントやゲームに勝つための作戦を伝え合う場を設定する。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる力 ・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	・NTの協力をいかして、以下の工夫を行う。 ・低学年では、音声と文字に親しんだり識別したりする活動を多く取り入れる。高学年からは、4線を使って正しく書けるように、ワークシートや指導を工夫する。 ・視覚情報や状況設定などをもとに、音声に慣れ親しませるとともに、繰り返し声に出して言い慣れさせる指導を行う。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・B「主として人との関わりに関すること」 ・道徳的判断力	・児童が自分の体験やそれに伴う感じ方や考え方を基に自分なりの考えをもって友達と話し合い考えを深める場面を設定する。 ・道徳的価値の理解を深められる問題解決的な学習を毎学期1回は設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	・集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成しようとする態度 ・問題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする力	・学級活動の在り方について「東京都特別活動授業プラン」の冊子の活用等を用いて研修を実施する。 ・当番や係活動を振り返る学級活動の時間を確保する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	・実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で取り組むべき課題を見いだす力 ・事象を関係付ける、多面的にみる、理由付ける、構造化するなどして情報を整理・分析する力 ・情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能	・フィールドワークやゲストティーチャーの話を受けて、児童が関心や疑問をもったことをもとにして課題を設定する。 ・学習内容や目的に合わせた思考ツールを用いて、情報や考え整理したり、情報を分析して課題を解決し新たな課題を見いだしたりする。 ・それぞれの思考ツールの特性を生かした活用場面を設定する。情報を整理することで、考えが広がったり深まったりする良さに気付かせる。